

令和 5 年度第 3 回参画と協働のまちづくり審議会

## 自治のあり方（議会）検証結果

### 1 会議概要

令和 5 年 6 月 2 8 日（水） 午後 1 時 3 0 分～午後 4 時 2 0 分  
白岡市役所 会議室 4 0 4

### 2 第 3 回審議会における検証作業について

令和元年度の検証時には、議会と市民との対話、議会報告会、インターネット生中継など議会活性化にむけた検討が必要であるとの検証結果であった。

このことを踏まえた上で、令和 5 年度第 3 回会議においては、改めて議会の仕組み等について理解した上で、議会運営の視点から議会のあり方について検証作業を実施した。

### 3 審議会で出された意見

- ・ 行政には窓口があり、市役所に足を運ぶことで色々聞くことができる。また、市長への手紙やパブリックコメントなどで意見が伝えられるが、議会への伝え方がわからない。
- ・ 議員が個人で報告会などを実施しているが、個人ではなく議会に対して意見を言える場があるとよい。
- ・ 一つの会派ではなく、色々な会派が開催している会議（報告会）であれば、足を運びやすい。
- ・ 子育て世代は、議会の傍聴に行く時間を作れない。
- ・ インターネットをもっと活用し、議論の内容が市民に伝わるよう工夫が必要である。
- ・ 議会中継について、議員全員の顔がわかるように移し方を検討してほしい。
- ・ 議会も SNS を活用して情報発信する。

- ・ 議会と市民の間に距離を感じる。
- ・ 市民は、本会議だけでなく委員会も傍聴するべき。
- ・ 議会だよりで議決内容や一般質問の内容を知ることができるが、議論の様子がわからない。
- ・ 議決に至るまでの議論の過程を公開してほしい。
- ・ 議会だより等で議論の内容をわかりやすい言葉で表現してほしい。
- ・ 議会が市民に対して広聴会を実施してほしい。
- ・ 市民のまちづくりに対する興味は、投票率に表れている。

議会で議論している内容や課題を情報発信し、市民に興味をもってもらうことが必要である。

- ・ 議員提案の条例が少ない。
- ・ 議案の内容だけでなく、全体的な市の状況を市が議会に説明し、把握してもらう。新任の議員向けの研修等が必要ではないか。
- ・ 市議会議員の仕事の魅力を発信してほしい。
- ・ 議員の定数を下げて報酬を上げ、議員活動に専念できるようにする。
- ・ 一般市民は、議員や候補者と接する機会が少ないため、選挙で選ぶことが難しい。
- ・ この議会のあり方検証において、議会の仕組みなどの説明を聴いて色々わかった。議会について、市民は知らないことが多いと思う。

どういうプロセスで議論がなされているのか、情報発信が必要である。

- ・ 一般的に議会に求められているもの（役割）がわかりにくい。

#### 4 実施結果（総評）

現在、市議会では、市ホームページにおいて議案書、議事録の公開や一般質問、総括質疑の議会中継を実施するなど、情報発信に努めるとともに、議員に対しタブレット端末を配布することにより従来の紙での議案書を省略するなど、議会の効率化にも積極的に取り組んでいます。

しかしながら、発信された議案の内容等が難解で理解しづらく、どのような議論がなされているのか、わかりやすい言葉やわかりやすい方法

で発信することが重要です。

また、新たに行われた議会報告会では、議員が直接市民とワークショップを行い、意見を取り交わすなど有意義な取組が行われています。

議会に対して直接意見が伝えられる機会は少なく、今後においても議会報告会のような市民にとって議会がより身近に感じることができる取組を継続して実施することが必要です。